

3121	高木慎悟 他17名	カボチャ	くり將軍
------	-----------	------	------

施肥 有機質・土壌改良剤・化学肥料など（購入の場合はメーカー名記入）

2 / 2

<土づくりの使用資材・肥料について>

使用量はkg/10a

商品名	原料	メーカー(購入先)	全N%	化成N%	全P%	化成P%	全K%	化成K%	化成有機率(%)	使用目的	計画				実績			
											使用量	使用時期	回数	化成窒素kg	使用量	使用時期	回数	化成窒素kg
産直有機入り8-8-5			8	2	8		5				60	3月中旬	1	1.2	60	3月中旬	1	1.2
産直有機6-8-3	長崎県肥第556号、副産動物質肥料、6.0フィッシュリゾブル	長崎油桐工業(株)	6	0	8	0	3	0	100									
オーガニック 7-4-2	兵庫県肥第1614号、混合有機質肥料	高砂桐料工業(株)	7	0	4	0	2	0	100									
カキライム	牡蠣殻	日化工業(株)	1	0	0		1	0	100		60	3月中旬	1	0.0	60	3月中旬	1	0.0
苦土石灰	熊本県肥料1268号・炭酸カルシウム(7%が55%,可溶性苦土10%)	熊本産業(株)		0					100									
グリーンコンボ	鶏糞堆肥	秋川牧園	1	0	1	0	1	0	100		60	3月中旬	1	0.0	60	3月中旬	1	0.0
	大崎 義之																	

【慣行農法との比較】

\*化学肥料

窒素分で比較して 当地比	6	削減
化学肥料	窒素使用量 (kg/10a)	
慣行使用量	20	
計画使用量	8	

\*節減対象農薬

当地比	5	削減
節減対象農薬	計画回数	地域の慣行防除
土壌消毒剤		
除草剤		
殺虫剤		
殺菌剤		
その他薬剤		
合計	5	12

病虫害の防除 使用した天然防除資材・自作資材・農薬（成長調整剤、屋着剤等を含む）

使用量/10a

分類	商品名	原料/成分名	メーカー(購入先)	使用目的	計画					実績					使用回数上限	
					希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	希釈倍率	使用量	使用時期	回数	カウント	商品	成分
殺菌	イオウフロアブル	硫黄		うどんこ病	500	-	4月中旬			500	200L	5/2	1	0	-	-
殺虫	エルサン乳剤	PAP		アブラムシ類、アザミヤカ類	1000~2000	100~300L	5月上旬			1000	200L	5/2	1	1	3	3
殺菌	Zボルドー	銅		褐斑細菌病、黒腐病、軟腐病、斑点細菌病、べと病	500	100~300L	5月下旬			500	200L	5/2	1	0	-	-
殺菌	ライメイフロアブル	アミスルプロム		疫病、べと病	2000	100~300L	5~6月								4	4
殺菌	ランマンフロアブル	シアノファミド		疫病、べと病	2000	150~300L	5~6月								3	3
殺菌	ベトファイター顆粒水和剤	シモキサニル・ベンチアパリカルブイソプロピル		疫病	2000	100~300L	5~6月									
殺菌	アフエツフロアブル	ベンチオピラド		つる枯れ病・うどんこ病	2000	100~300L	5~6月			2000	300L	5/27	1	1		

備考:

最大で、化学肥料(窒素成分)は8kg以下、節減対象農薬(成分カウント)は5回以内までの使用です。

実績は 高木慎悟さん 計85a  
1.2kg、2回 2023/6/12時点実績  
定植 2023/3/22

	計画(作業、施肥、防除など)	実績(作業)
1月	踏み込み温床、播種、移植	
2月	定植	
3月	受粉、整枝、マルチ・トンネル被覆	播種 3/3、定植 3/22~
4月	玉直し	定植 ~4/1
5月	収穫	収穫
6月	収穫	収穫 6/5~
7月	収穫 ~7/10、貯蔵	
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		

播種開始:	令和5年3月3日
終了:	令和5年3月3日
定植開始:	令和5年3月22日
終了:	令和5年4月1日
収穫開始:	令和5年6月5日
終了:	令和5年7月10日